

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍で地域との付き合いが薄くなってきている。	今まで行ってきたことが行えるよう工夫をしていく。	地域の方のボランティアなどの受け入れ人数を1~2名位の少数にして行う。花壇の花植えや園芸作業、体操、舞踊等密にならないように消毒や換気をしっかりと行っていく。お楽しみ会のようなことを計画して、みんなに楽しんで頂く。	12か月
2	20	これまで大切にしてきた馴染みの人との面会が少なくなっている。	馴染みの関係性が維持できる。	いつでも電話をしたり、手紙を出したり、リモートでの面会ができるようであれば可能とする。来所ができるようであれば、混みあわないように予約制にしたり、面会場所を屋外に設置したり、十分に寒さへ配慮して、会えるように環境を整える。	6か月
3	40	食事を楽しむ支援ということで、外食等が行えない。	食事を皆で楽しんで頂ける。	利用者の希望のメニューを覗き、食事やお茶をテラスなどの屋外にセッティングして雰囲気づくりを行う。手作りおやつを皆で作って頂く。外食ではなく、出前、注文してお店で買って頂く。定期的にホーム内喫茶を行う。	12か月
4	49	外出が難しく支援できていない。	ホームの周辺を散策したりして、外気に触れ気分転換する。	少人数でドライブをし、季節の草花を見たり歩いたり、屋外で過ごせる時間を増やして生活できるようにする。テラスを活用し、お茶会や行事等を行い、普段と違う雰囲気を味わっていただける様に工夫する。	6か月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。